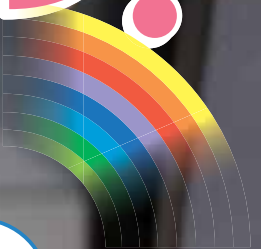


市子ナギサ

報

SAGA



No.291

平成29年
11 | 1
NOVEMBER
2017



Genius
Impediment
Find
Transmit

スロー WORK 大和

☎62・7133



完全無農薬野菜といえばここ。にんじんだけでも、白や紫、黒など6色も!年間を通じて約200品種の野菜を栽培している。

野菜につく虫を手で取り除く等、丁寧な作業ぶり。見た目も楽しく、安全安心な季節の野菜は口コミで広がり、現在15の飲食店と契約販売もしている。

事業所はもちろん、道の駅大和そよかぜ館や直売所でも購入できる。

ワーク スペース かん

☎37・7078



「手作りさがのせんべえ」を目指して、こだわりいっぱい「ぱりせん」を作っている。材料は全て佐賀県産で、味はしお、醤油、いりこ&いりこ海苔、えびの4種類。生地の製造から焼き、包装まで約5日間かけて丁寧に作っている。

販売は、事業所やチャレンジドショップきらめきのほか、毎週金曜10時からアバンセで1時間行っている。

ワークス 山王

☎51・2718



のどかに広がる大和町の田んぼでおいしい米を栽培している。品種はさがびより。5町ほどの広さを利用5人、指導員4人で管理している。

6月に田植えを行い、10月に稲刈りを行う。11月には新米が販売できるとのこと。

9月の台風の際は、作業するスタッフみんなが「稲は大丈夫だろうか…」と心配したそう。おかげで大きな被害はなく、今年もおいしい米に仕上がった。

価格は10kg4,000円程度。チャレンジドショップきらめきのほか、事業所でも購入できる。

ともしび

☎37・8575



栄養価が非常に高いという「きくらげ」の菌床栽培を手掛けている。1,000坪のハウスに、約3,000個の菌床がずらりと並ぶ。

市場に出回る9割以上が外国産の乾燥ものという中、「佐賀県産で安心、生ならでの食感が抜群」とひっぱりだこ。学校給食や老舗デパートにも納品している。これからの季節は乾燥きくらげがメインで、1年ほど保存できる。

商品はチャレンジドショップきらめきのほか、コープさが新栄店、道の駅大和そよかぜ館等で購入できる。

思わず手に取りたくなる商品があります

佐賀駅バスセンターそばの信号を東に渡ると、かわいらしいお店が見えてくる。

無添加の手作りクッキーや丁寧に織られた「さをり織り」の小物やアクセサリ、傘の布地を再利用したエコバッグ、個性的なイラストのカレンダー…。

4坪ほどの小さな店内にセンス良く並ぶ様に、思わず「かわいい~!!」

ここはNPO法人佐賀中部障がい者ふくしネットが運営する「チャレンジドショップ きらめき」だ。

扱っている商品は、佐賀市が実施する「きらめきプロジェクト」の対象事業所で作られた製品。佐賀市・小城市内の20事業所が参加している。普段、なかなか目に触れることのない福祉商品の魅力を知ることができるお店なのだ。

コンセプトは「GIFT(ギフト)」。

Genius(才能)
Impediment(障がい者)
Find(発見)
Transmit(伝える)の頭文字だ。



どの製品もコツコツと手間をかけ、丁寧に作られている。手に取ると、品質の良さに驚く。そして、なんといっても価格が良心的なことにびっくり。

自宅で使用することはもちろん、「ちょっとしたプレゼントにいいな」「自分へのごほうびに買っちゃおうかな…」と想像がふくらみ、わくわくしてしまう。

スタッフの藤戸小百合さんは「初めてこれらの商品を見たときは、『うわあ、いいじゃん!』と思いました(笑)。丁寧に、丈夫で、品質が良くしかも1点もの。『もっと早く知りたかった~』と思いましたよ!』と話す。

この店で商品が売れると、その売り上げは製作した事業所へ全て納められるため、工賃の向上につながる。とても素敵なことだ。

しかし、藤戸さんはこう話す。

「工賃の向上につながるから買って欲しいということではないんです。商品として本当に『いいもの』だから、自信を持って紹介したいんです。」と。

障がいのある人にはすばらしい才能がある。丁寧にあたたかく、上質な「モノ」を作り出す才能が。

チャレンジドショップきらめきでは、そんな「モノ」たちが皆さんを待っている。



NPO 法人
佐賀中部障がい者ふくしネット
コーディネーター
藤戸 小百合さん



チャレンジドショップ ☎20・2987
きらめき FAX20・2988

